

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2003-58244 (P2003-58244A)
 【公開日】平成 15 年 2 月 28 日 (2003.2.28)
 【出願番号】特願 2001-244723 (P2001-244723)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 5 B 23/02

G 0 6 F 3/00

G 0 6 F 3/14

【F I】

G 0 5 B 23/02 3 0 1 T

G 0 6 F 3/00 6 5 2 C

G 0 6 F 3/14 3 2 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 20 日 (2004.5.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プラントから収集したプラントデータを画面表示装置に表示するプラント監視制御装置において、プラントデータを入力し当該入力したプラントデータのうち任意に選定可能な特定のプラントデータを登録した重点監視データ集合を設け、この監視データ集合に登録されたプラントデータを前記画面表示装置に与えるデータフィルタを設けたことを特徴とするプラント監視制御装置。

【請求項 2】

プラントから収集したプラントデータを画面表示装置に表示し当該画面表示装置に表示された前記プラントの状態に応じて入力装置により前記プラントを制御信号で制御するプラント監視制御装置において、前記プラントへの制御信号を入力し当該入力した制御信号のうち任意に選定可能な特定の制御信号を登録した重点監視データ集合を設け、この監視データ集合に登録された制御信号を前記プラントに与えるデータフィルタを設けたことを特徴とするプラント監視制御装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載のプラント監視制御装置において、前記任意の設定が行われる複数の監視データ集合を設け、これら監視データ集合に登録されたデータに基づいて前記データフィルタが前記機能を司ることを特徴とするプラント監視制御装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載のプラント監視制御装置において、前記データフィルタが使用している前記監視データ集合を入力装置からの選択入力により他の監視データ集合に切り替える監視データ集合選択部を設けたことを特徴とするプラント監視制御装置。

【請求項 5】

請求項 3 に記載のプラント監視制御装置において、前記データフィルタが使用している前記監視データ集合を監視データ集合選択条件データベースの条件及びプラントデータ値に基づいて他の監視データ集合に自動切り替えする監視データ集合選択部を設けたことを特徴とするプラント監視制御装置。

【請求項 6】

請求項 1 に記載のプラント監視制御装置において、重点監視データ集合をプラント監視制御装置毎に異なる内容とすることにより、表示可能とするプラントデータをプラント監視制御装置毎に異なるものとできることを特徴とするプラント監視制御装置。

【請求項 7】

請求項 2 に記載のプラント監視制御装置において、重点監視データ集合をプラント監視制御装置毎に異なる内容とすることにより、プラント監視制御装置より出力可能とする制御信号をプラント監視制御装置毎に異なるものとできることを特徴とするプラント監視制御装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

【課題を解決するための手段】

請求項 1 に記載の発明に係るプラント監視制御装置は、プラントから収集したプラントデータを画面表示装置に表示するプラント監視制御装置において、プラントデータを入力し当該入力したプラントデータのうち任意に選定可能な特定のプラントデータを登録した重点監視データ集合を設け、この監視データ集合に登録されたプラントデータを前記画面表示装置に与えるデータフィルタを設けたものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項 2 に記載の発明に係るプラント監視制御装置は、プラントから収集したプラントデータを画面表示装置に表示し当該画面表示装置に表示された前記プラントの状態に応じて入力装置により前記プラントを制御信号で制御するプラント監視制御装置において、前記プラントへの制御信号を入力し当該入力した制御信号のうち任意に選定可能な特定の制御信号を登録した重点監視データ集合を設け、この監視データ集合に登録された制御信号を前記プラントに与えるデータフィルタを設けたものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項 6 に記載の発明に係るプラント監視制御装置は、請求項 1 に記載のプラント監視制御装置において、重点監視データ集合をプラント監視制御装置毎に異なる内容とすることにより、表示可能とするプラントデータをプラント監視制御装置毎に異なるものとできるものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

請求項 7 に記載の発明に係るプラント監視制御装置は、請求項 2 に記載のプラント監視

制御装置において、重点監視データ集合をプラント監視制御装置毎に異なる内容とすることにより、プラント監視制御装置より出力可能とする制御信号をプラント監視制御装置毎に異なるものとできるものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

【発明の効果】

請求項1に記載のプラント監視制御装置の発明は、プラントから収集したプラントデータを画面表示装置に表示するプラント監視制御装置において、プラントデータを入力し当該入力したプラントデータのうち任意に選定可能な特定のプラントデータを登録した重点監視データ集合を設け、この監視データ集合に登録されたプラントデータを前記画面表示装置に与えるデータフィルタを設けたもので、重点監視データやその他その時々に応じて必要なプラントデータに的を絞って画面表示装置上で監視できるので、オペレータの負担を軽減し、早く的確な監視が行われる効果がある。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

請求項2に記載のプラント監視制御装置の発明は、プラントから収集したプラントデータを画面表示装置に表示し当該画面表示装置に表示された前記プラントの状態に応じて入力装置により前記プラントを制御信号で制御するプラント監視制御装置において、前記プラントへの制御信号を入力し当該入力した制御信号のうち任意に選定可能な特定の制御信号を登録した重点監視データ集合を設け、この監視データ集合に登録された制御信号を前記プラントに与えるデータフィルタを設けたので、オペレータの負担を軽減し、早く的確な制御が行われる効果がある。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0051】

請求項6に記載のプラント監視制御装置の発明は、請求項1に記載のプラント監視制御装置において、重点監視データ集合をプラント監視制御装置毎に異なる内容とすることにより、表示可能とするプラントデータをプラント監視制御装置毎に異なるものとできるので、オペレータの負担が軽減し、早く的確な対応が行われるのみでなく、多様な監視を行える効果がある。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

請求項7に記載のプラント監視制御装置の発明は、請求項2に記載のプラント監視制御装置において、重点監視データ集合をプラント監視制御装置毎に異なる内容とすることにより、プラント監視制御装置より出力可能とする制御信号をプラント監視制御装置毎に異

なるものとできるので、オペレータの負担が軽減し、早く的確な対応が行われるのみでなく、多様な制御を行える効果がある。